

仙台市ガス事業の概要



令和元年7月22日

(1) 仙台市ガス事業について

- 仙台市ガス事業は、明治42年より民間で事業を開始し、昭和16年に仙台市が買収、公営事業者となりました。
- 仙台市ガス局は、公営事業者としては、お客さま数は最大であるとともに、唯一、原料である液化天然ガス（LNG）を海外から直接輸入しています。
- 創業以来100年余りに亘って、供給区域を拡大しつつ、仙台市域に都市ガスを供給し、地域社会の発展に貢献してきました。

<仙台市ガス局の沿革>

明治42年	仙台瓦斯(株)創立
昭和16年	仙台市が仙台瓦斯(株)を買収し、公営となる
昭和48年	港工場竣工
平成7年	マレーシアLNG社とLNG売買契約を締結
平成9年	新港工場竣工
平成14年	東北天然ガス(株)よりパイプラインによる天然ガスの購入を開始 ローリー車によるLNG供給開始
平成16年	ショールーム「ガスサロン」開所
平成20年	「仙台市ガス事業民営化計画」策定 ガス事業継承者の公募を開始
平成21年	ガス事業継承者公募の参加資格者から参加辞退届が提出されたため公募を中止
平成23年	東日本大震災発生、港工場に甚大な被害
平成26年	緊急時ガス受入設備（バックアップステーション）を名取市に設置
平成27年	マレーシアLNG社とLNG売買契約を更新

(2) 仙台市ガス局の供給区域等

事業内容：都市ガスの製造・供給

供給区域：仙台市、多賀城市、名取市、富谷市、
利府町、大和町、大衡村

職員数：314名（H31.4.1 現在）

都市ガス売上高

29,703百万円

お客さま数

343,440戸

都市ガス販売量

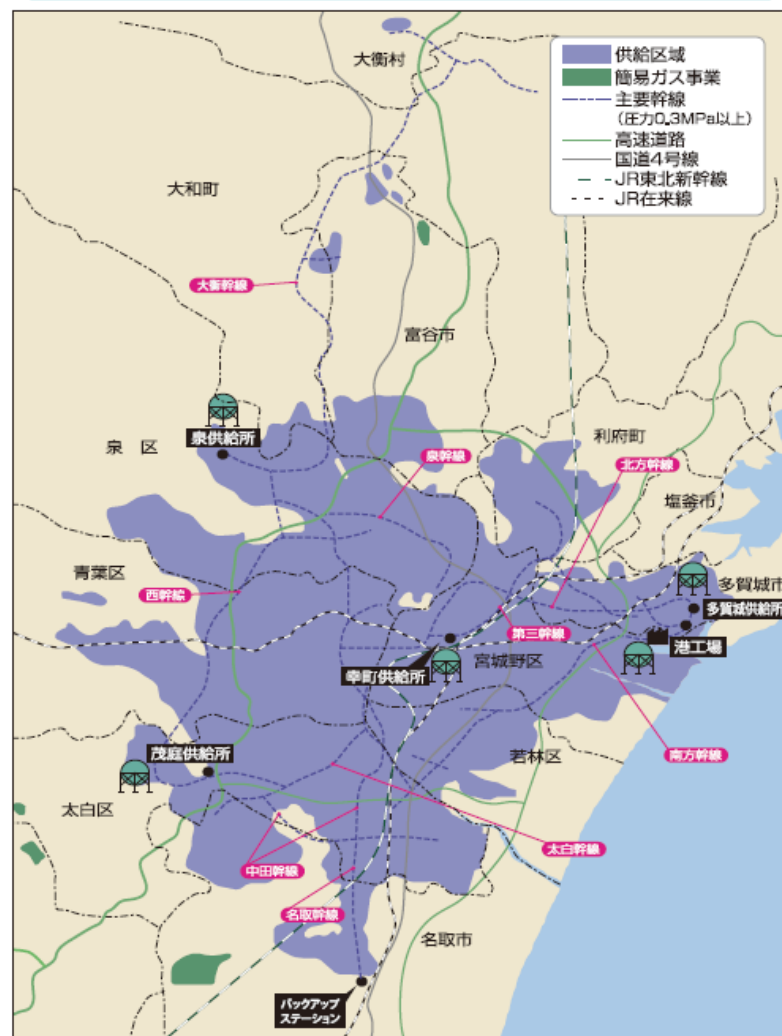
283,376
(千m³/45MJ)

都市ガス本支管延長数

4,420.1km

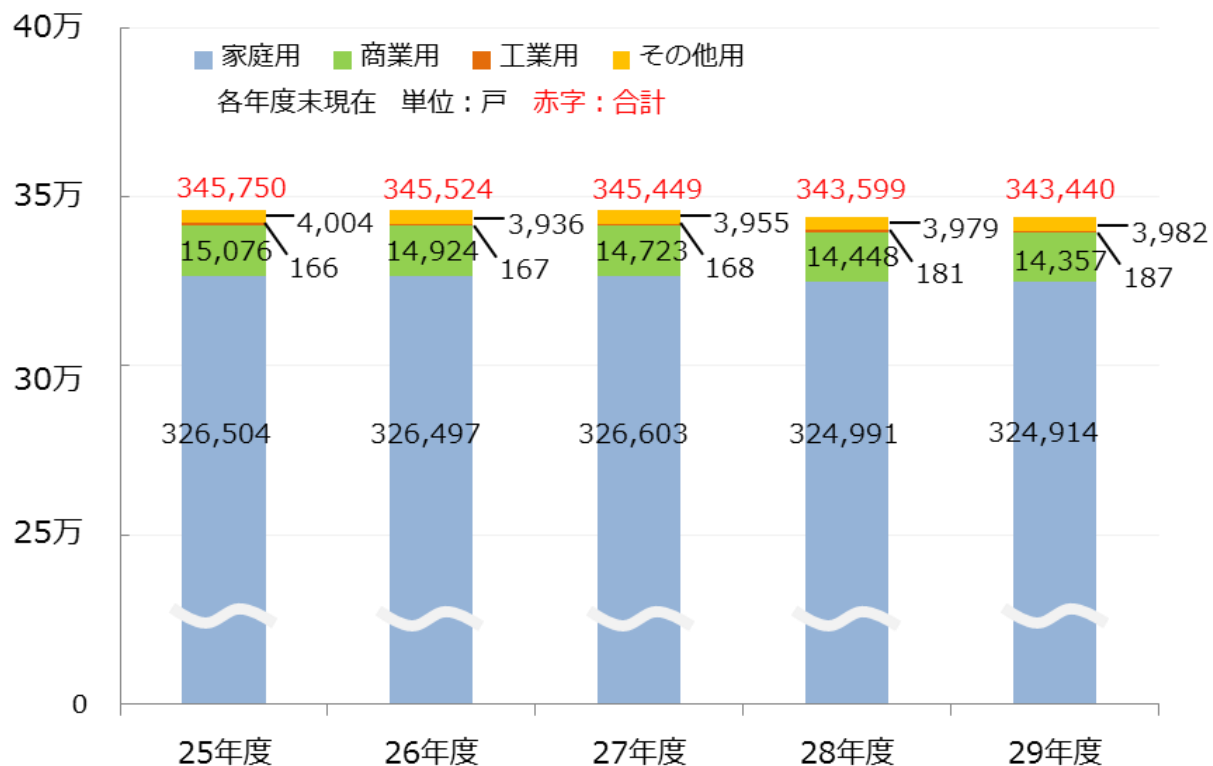
(平成29年度末の数値)

仙台市ガス局供給区域図 平成30年4月現在



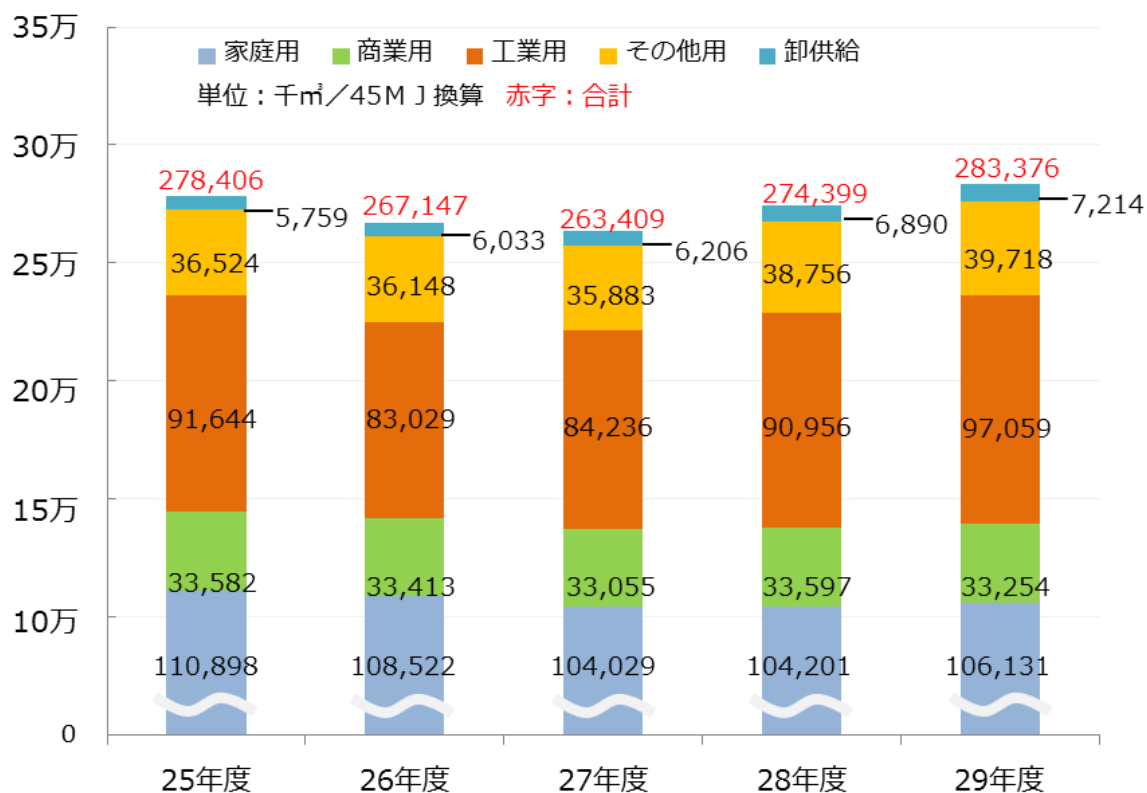
(3) ガス局の基本情報① 都市ガス用途別お客さま数の推移

- お客さま数に占める家庭用のお客さまの割合は95%となっており、次いで、商業用のお客さまが4%となっている。
- 家庭用、商業用は微減傾向にある。
- 工業用は、積極的な営業戦略の結果、平成28年度以降、数字を伸ばしている。



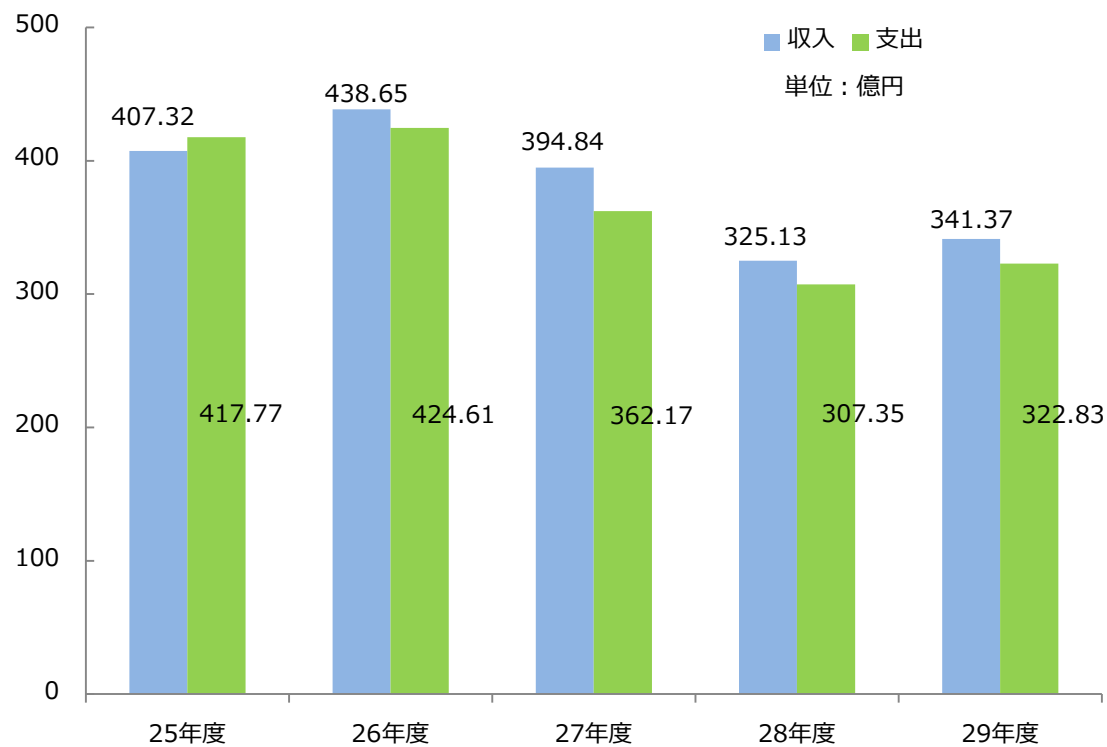
(3) ガス局の基本情報② 都市ガス用途別販売量の推移

- 販売量に占める割合は、家庭用が37%と最も高く、次いで工業用が34%程度となっている。
- 家庭用販売量は、平成25年度と比べ、平成29年度は減少している。対して、工業用は、お客さま数増加に伴い、増加している。



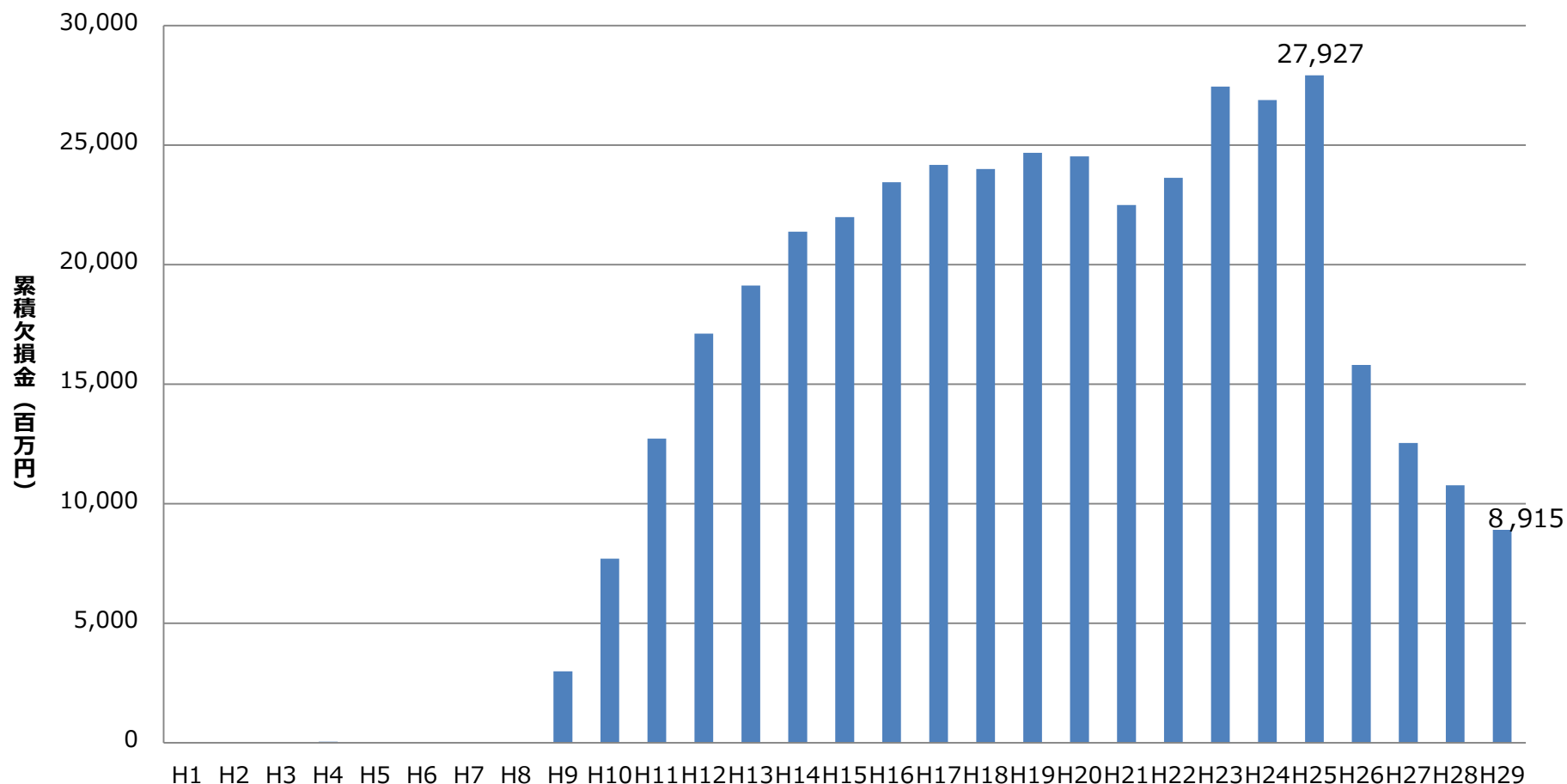
(3) ガス局の基本情報③ 事業収支の推移

- 仙台市ガス事業の事業収支は、平成26年度から4期連続で黒字を計上している。



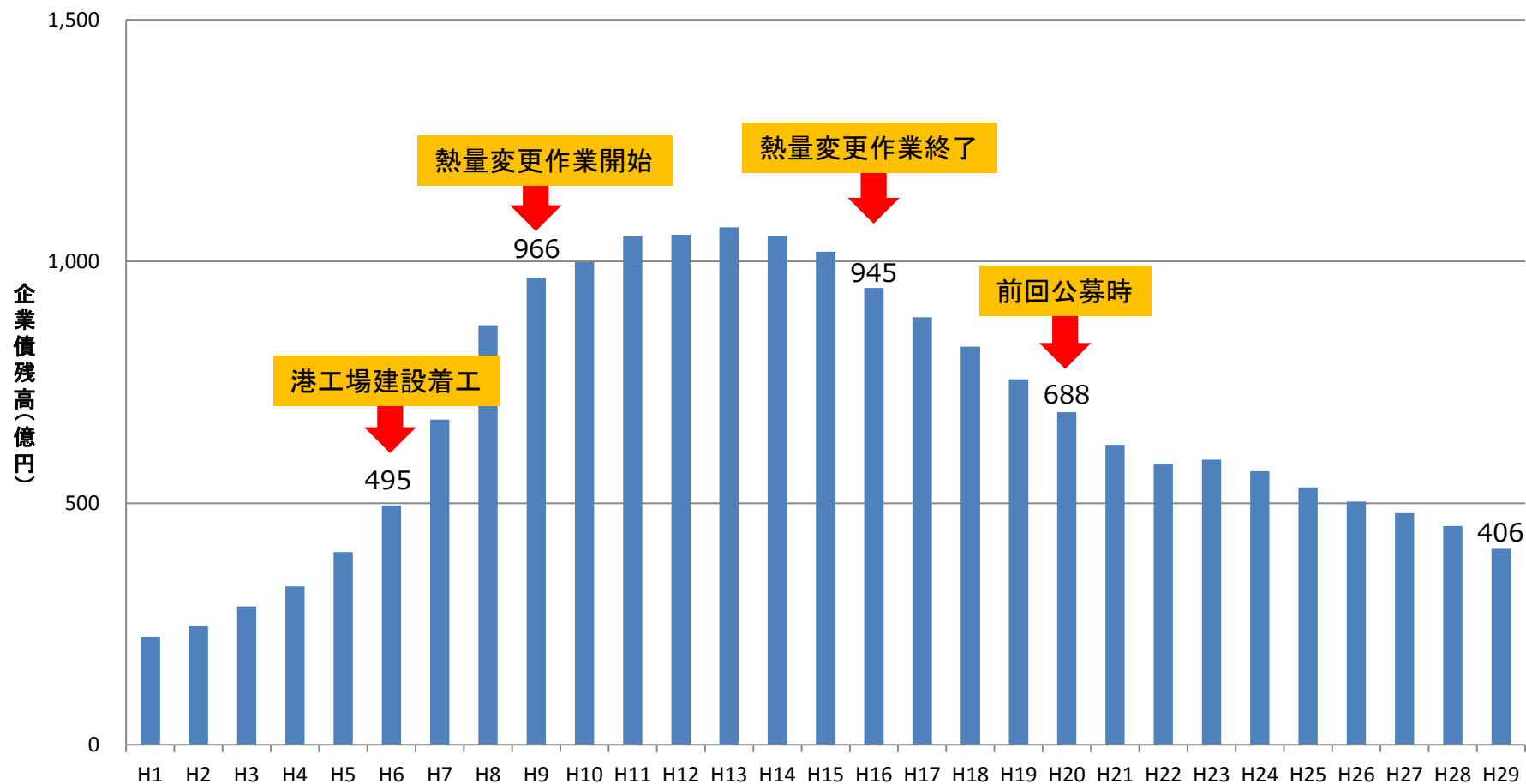
(3) ガス局の基本情報④ 累積欠損金の状況

- 累積欠損金は、東日本大震災の復旧・復興事業により平成25年がピークとなっている。
- 直近4年間は安定的な経営により、大きく減少している。



(3) ガス局の基本情報⑤ 企業債残高の状況

- 天然ガスへの切替投資等によってピーク時は1,000億円を超えていた。
- 企業債残高は、順調に減少していることがわかる。



(4) 他ガス事業者等との比較① ガス売上高

・ 他ガス事業者との比較

順位	企業名	ガス売上高(百万円)
1	東京ガス	1,011,990
2	大阪ガス	614,327
3	東邦ガス	264,509
4	西部ガス	93,897
5	静岡ガス	85,429
6	京葉ガス	65,584
7	北海道ガス	46,766
8	広島ガス	44,940
9	大多喜ガス	42,470
10	北陸ガス	29,799
11	仙台市ガス局	27,641

・ 他公営事業者との比較

順位	企業名	ガス売上高(百万円)
1	仙台市	27,641
2	大津市	11,015
3	金沢市	5,759
4	上越市	4,972
5	習志野市	4,953
6	福井市	2,413
7	松江市	1,260
8	小千谷市	1,204
9	見附市	1,176
10	由利本荘市	1,006

(4) 他ガス事業者等との比較② ガス販売量

・ 他ガス事業者との比較

順位	企業名	ガス販売量 (1,000MJ)
1	東京ガス	595,532,460
2	大阪ガス	367,797,649
3	東邦ガス	164,946,095
4	大多喜ガス	36,796,273
5	京葉ガス	36,379,415
6	西部ガス	35,586,452
7	京葉ガス	30,169,523
8	北海道ガス	24,832,590
9	広島ガス	19,697,850
10	北陸ガス	14,226,414
14	仙台市ガス局	12,037,907

・ 他公営事業者との比較

順位	企業名	ガス販売量 (1,000MJ)
1	仙台市	12,037,907
2	大津市	7,613,079
3	習志野市	2,764,016
4	上越市	2,666,979
5	金沢市	1,856,150
6	福井市	802,761
7	小千谷市	707,220
8	見附市	641,494
9	東金市	512,996
10	魚沼市	452,703

(4) 他ガス事業者等との比較③ お客さま数の状況

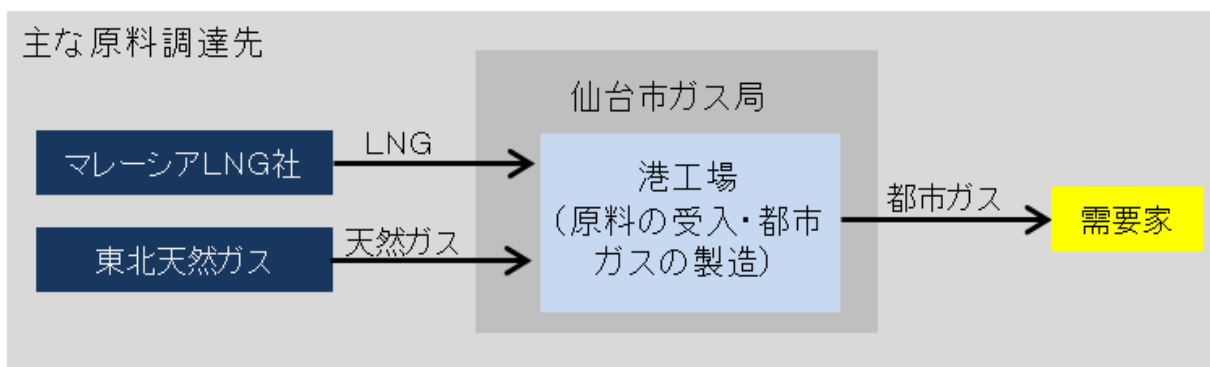
・ 他ガス事業者との比較

順位	企業名	需要家数(個)
1	東京ガス	11,388,965
2	大阪ガス	7,310,123
3	東邦ガス	2,410,543
4	西部ガス	1,098,398
5	京葉ガス	917,680
6	北海道ガス	565,947
7	広島ガス	409,881
8	北陸ガス	371,770
9	仙台市ガス局	343,599
10	静岡ガス	318,296

・ 他公営事業者との比較

順位	企業名	需要家数(個)
1	仙台市	343,599
2	大津市	102,214
3	習志野市	77,945
4	金沢市	68,733
5	上越市	53,182
6	福井市	23,619
7	東金市	14,975
8	糸魚川市	14,955
9	松江市	14,804
10	見附市	12,703

(5) 原料調達について



↑ LNGタンカー「アマンセンダイ」
積載容量：18,800m³（約8,200 t）

■ 液化天然ガス(LNG)の購入

LNGをマレーシアLNG社から購入し、サラワク州ビンツルの天然ガス液化工場からLNGタンカー（アマンセンダイ）を利用して海上輸送している。年間最大20船、液化天然ガス約16万トンを受け入れている。

■ 天然ガスの購入

東北天然ガス(株)から新潟～仙台パイプラインを通じて天然ガスを購入している。天然ガスは新潟県よりパイプラインで送出され、港工場まで運ばれる。ガス局が1年間で購入する原料全体の凡そ3分の1を占める。



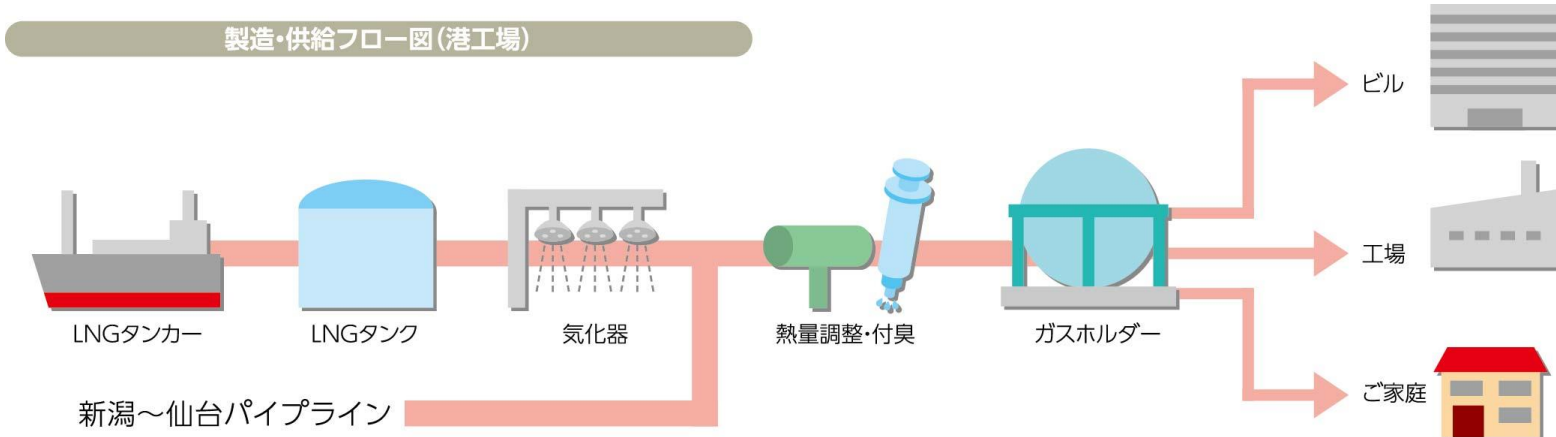
(6) 港工場について

LNGの受入・貯蔵および都市ガスの製造・送出を目的として平成9年6月より運用を開始。

仙台塩釜港仙台港区に面する約98,000㎡の敷地においてLNGタンカー受入バース、LNG地下式貯槽、LNG気化器、球形ガスホルダー等を備え、24時間体制でガスを製造。



↑ 港工場全景



(7) 安全・安定供給体制

ガス導管の耐震化

- 宮城県沖地震以降、耐震化策として導入を推進してきたポリエチレン管により、東日本大震災における被害は、167箇所（宮城県沖地震の際は、215箇所）にとどまった。被害は、ねじ接合の導管に集中しており、有効な対策であることが実証された。
- ポリエチレン管を含めた中・低圧導管の耐震化率は、85.8%。

緊急時ガス受入設備（バックアップステーション） パイプライン受入地点の増設

- 東日本大震災を契機に、内陸側に緊急時ガス受入設備を設置、平成26年12月17日より運用を開始した。
- 津波の影響を受けない内陸側に設置したことで、港工場からガスの供給ができなくなった場合でも、本設備からのガスの受け入れにより途切れることなく供給を続けることが可能となった。

